

Z 家庭医療クリニック

研修ローテーション概要

Z 病院内科

一年目

最終更新：2013 年 3 月 10 日

目的(Goals):

入院を必要とする急性期・慢性期の状態を、効率的かつ適切に評価・トリアージ・診断・治療を行うために必要な知識と能力を学ぶ。

目標(Objectives):

1. 一次医療機関で頻繁に遭遇する内科的問題について、病態初期の適切な問診・身体診察ができ、鑑別診断を挙げ、適切な治療計画を立てることが出来る。
2. タイムマネジメントおよび社会的資源の活用を効果的に行いつつ、急性期患者の入院から退院まで、適切に管理することが出来る。
3. 家庭医が頻繁に遭遇する入院適応となる疾患に関し、十分な知識を備え、必要なときは対診を行い、臨床で遭遇する諸問題に関して、他の専門家と一緒に働くことが出来る。
4. 頻繁に遭遇する疾患の診断・治療に必要な手技の経験を積む。
5. 様々な専門分野のチームの中で、患者に質の高い医療ケアを提供する一員として機能出来る。
6. 診療所および病院で、十分独立して診療を行える能力を身につける。

方法(Plans):

A) 患者ケア

1. 適切な病歴・身体所見が取れる。
症状の期間、重症度、随伴症状、既往歴および家族歴。
2. 問題点と鑑別疾患を適切に挙げられる。
3. 各問題点の適切な治療を提供し、適切なフォローと治療の修正が出来る。
4. 学習目標を達成するために、適切な人数の患者を受け持ち、必要に応じてコンサルトできる。
5. 中心静脈ライン・動脈血液ガス・ACLS・胸腔穿刺・腹腔穿刺・脊椎穿刺ができる。
6. 適切な入退院計画が立てられる。
7. 入院に関するコモンな内科的問題について、必要に応じてコンサルテーションを行い、他の職種と協力して働くことが出来る。具体的には下記疾患が含まれる。
 - i. 呼吸不全
 - ii. 慢性心不全
 - iii. 肺炎
 - iv. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)
 - v. 不安定狭心症
 - vi. 胃十二指腸潰瘍
 - vii. 糖尿病
 - viii. 急性腎不全
 - ix. 敗血症
 - x. 肺梗塞
 - xi. 心筋梗塞
 - xii. アルコール等、薬物中毒症状および離脱症状
 - xiii. 膝炎
 - xiv. 終末期医療に関する諸問題

B) 医学的知識

1. プライマリケアの診療所において、頻繁に遭遇する内科的疾患を適切に表現できる。

2. 病歴を適切に取ることができ、指導医とディスカッションが出来る。
3. 指導医の監督下で基本的な身体所見を取り、エビデンスに基づいた医学知識を適用できる。

C) 診療に基づいた学習および改善

1. 自分自身の教育を補助する、情報検索を目的とした IT を活用し、臨床上の問題解決に UpToDate や Dynamed などを用いることができる。
2. 臨床推論を理解し、市中肺炎・心不全・急性心筋梗塞・ヘパリンの量調整・インスリンスライディングスケールなどを使うことが出来る。

D) 対人およびコミュニケーションの学習

1. 内科医と協力的に働くことができる。
2. 内科的問題・治療の説明を、患者および家族が理解出来るように提供することができる。
3. 患者教育資料・パンフレットなどを、適切に提供できる。
4. 全ての他職種スタッフに対し、良好なコミュニケーション能力を発揮できる。

E) プロフェッショナルリズム

1. 日々の業務を時間内に完遂することができる。
2. プロフェッショナルとしての全ての職業活動において、敬意、思いやり、誠実さ、自分を高めていく努力を発揮できる。
3. 各患者の文化、年齢、身体的障害に対する思いやりと反応がある。

F) システムに基づいた診療

1. プライマリケアの診療所から、内科医に紹介するべき疾患や適応を理解する。
2. 費用対効果に見合った検査・治療を行うことができる。
3. 保険適応病名を理解し、適切な病名・手技を請求・登録することができる。

過去のレジデントが実際に経験した主な症例

(遭遇する機会のある疾患)

TIA、肺炎、VF、敗血症、慢性心不全、慢性腎不全、慢性閉塞性肺疾患、発熱、イレウス、膵炎、CO2ナルコーシス

主な研修場所： 公立 Z 町病院 内科

指導医： 医師 A（研修担当）・医師 B・医師 C・医師 D

研修に関する連絡先： 病院スタッフ（管理課） 医師 E（家庭医療科）

集合場所：

ローテーション開始前日までに、D 先生まで連絡。

病院で使用する白衣のサイズ合わせ（F さん）、医局内 LAN およびプリンターの設定（G さん）、当直体制の申請および確認（H さん・D 先生）、その他タイムカード・給与・休暇・超過勤務の書き方など（医局秘書 H さん）の説明を受けること。

回診・カンファレンス等：

公立 Z 町病院

新患カンファレンス	毎週月 0730-	3 階 2 病棟ナースステーション
入院患者カンファレンス	毎週金 1730-	3 階 2 病棟ナースステーション

当直：

ローテーション開始前月の 15 日までに、公立 Z 町病院医局のカレンダーまで都合の悪い日程を記載しておくこと。当直日程は D 先生によって割り振られている。

必要とされる書籍等：

The Washington Manual of Outpatient Internal Medicine
 The Washington Manual of Medical Therapeutics 33rd edition
 Saint-Francis Guide to Outpatient Medicine LWW

	月	火	水	木	金	土	日
7:30 -8:00	内科 病棟カンファ	(回診)		(回診)		休み 日直/当直 ワークショップ	休み 日直/当直 ワークショップ
8:00 -8:30	病棟	朝カンファ (clinic)	回診	朝カンファ (clinic)			
8:30 -12:20	病棟 (初診 岩本先生)	病棟 (初診 土屋先生)	HDB	病棟 (初診 中村先生)	病棟		
12:20 -13:30	Luncheon ミニレクチャー	Sign-out	Sign-out	Luncheon ミニレクチャー			
13:30 -17:00	病棟 (初診 砂子先生)	HDB	病棟 (初診 岩本先生)	病棟 (初診 金子先生)	GR		
17:00-		Sign-out			17:00- 病棟カンファ (出席できず)		

月 1 回 放射線読影カンファ

月 1 回 呼吸器カンファ

日当直は週末も入れて月 3 回程度。

その他、往診の見学など内科医師の院外の仕事について行くことは出来る。